

INCOMPRESO

CON

ANTHONY QUAYLE

STEFANO COLAGRANDE

SIMONE GIANNOZZI

JOHN SHARP

E GIORGIA MOLL

REGIA

LUIGI COMENCINI



天使の詩

ステファノ・コラグランデ少年 ● 原作 フロレンス・モントゴメリー
シモーネ・ジャンソツイ坊や ● 監督 ルイジ・コメンチーニ
アンソニー・クエイール ● 音楽 ラファエレ・ギグリア

〈カラー作品〉イタリア映画 8mm 日本ヘラルド映画〈文部省選定〉

泣き虫さん大丈夫ですよ、となりの人もきっと泣いています。

＜カラー作品＞イタリア映画/1967年度作品
日本ヘラルド映画

文部省選定
優秀映画鑑賞会推薦他14団体推薦
ルイジ・コメンチーニ監督作品

Herald



INCOMPRESO

CON ANTHONY QUAYLE
STEFANO COLAGRANDE SIMONE GIANNOZZI JOHN SHARP
F. GIORGIA MOLL
REGIA: LUIGI COMENCINI

*涙を誘う永遠の名作

いつの時代にも、純真無垢な子供の姿は、見る者の微笑と涙を誘います。「汚れなき悪戯」「奇跡の人」「クリスマス・ツリー」「ジョーイ」、そして、この「天使の詩」。スクリーンから観客の共感を呼び、涙を絞った名画、ベスト5といつてよいでしょう。

「天使の詩」は、この殺伐とした現代に渴望され、ふたたび私たちのところへ戻ってきたのです。この映画がつくられて、すでに11年たちました。けれど、新鮮な感動は年月に関係なく、常に私たちを包み込んできます。

監督は、リアリズムを追求したキメ細かい演出で知られるイタリアのルイジ・コメンチーニ。「ブーベの恋人」「アルプスの少女」などで、日本にも多くのファンを持っています。父親役には、イギリスの性格俳優アンソニー・ウェイル。陽気な叔父にジョン・シャープを配して、幼い兄弟の心の動きをくつきりと浮き彫りにした永遠の名作です。

「ママはどこへいったの」
小さな瞳に涙がひかり
ママの想い出がきらめいた
四つと八つそれはミーロとアンドレア

天使の詩

*「パパは僕を信じてくれない」

妻を病気で亡くしたばかりのフロレンス駐在の英国領事ジョン・エドワード・ダンカンには、8才と4才の子供がありました。弟のミーロは、父親にとっては妻に似た繊細な子。衝撃を与えないために、母親の死は兄のアンドレアだけに打ち明けられました。ミーロには絶対口外しないことを約束させて……。ところが、ある晩ミーロが「ママは死んだ!」と叫んだことから、父親はアンドレアを誤解してしまいます。悲しいぬれぎぬをきせられ「僕じゃない!」と訴えるアンドレア。それからというもの、父親と彼の心の溝は深まるばかり。末っ子らしく茶目っ気があり、兄の後を追いつくミーロは、いつもアンドレアを困らせます。でも、叱られるのはアンドレアだけ。

そんなアンドレアの心のうちを理解した叔父のウィルは、ダンカンに忠告します。もっと、アンドレアと話し合うように、と。気持ちを新たにしたダンカン、アンドレアを秘書としてローマへ連れていくことにしました。急に生き生きとし出したアンドレアは「パパの仕事を手伝うんだ」と有頂点。出発の朝早くから、洗車をして張り切っていました。これを目ざとく見つけたミーロは、連れていってもらえないと知ると、自分でホースの水を浴び、たちまち発熱。またしても父親に誤解されたアンドレアは、一人去る父親の車を追いつきながら徹底的に打ちのめされてしまいました。そして、さらに悲劇的な結末へ――。

アンドレア役のスティーヴ・コラグラデは、この映画の原題「誤解されている子供」を、素人とは思えない表現力をもって演じています。ミーロ役のシモーネ・ジャンノッツィも5才の時、コメンチーニにスカウトされた素人。この2人の名演技がフロレンスの美しい風景の中で、冴えわたっています。

(上映時間 1時間45分)

3月3日(土)涙のロードショー!

有楽町 日劇前
シネマ2 (57) 1947